

2023年1月13日

神奈川県健康医療局保健医療部
健康増進課健康づくりグループ御中

神奈川県食育推進計画の改定案（素案）への意見

生活協同組合パルシステム神奈川
理事長 藤田順子

日頃より神奈川県民の食の安全と健康の保護にご尽力いただき感謝申し上げます。
「第4次神奈川県食育推進計画」素案（食みらいかながわプラン2023）」につきまして、以下の通り、意見を提出させていただきます。

P5 「かながわ食育月間」、「みんなでいただきますの日」について

「食育の日」と第一日曜日の「ファミリー・コミュニケーションの日」など家庭は子どもにとって、食育の基礎を形成する大切な場ということに共感し、この取り組みが今後もずっと続くことを期待します。そのためには周知がまだまだ不足していると感じます。例えば毎月19日に給食を食べる子どもたちへ、この日は特別な意味を持った日であることを(イベント的なことを行うなど)楽しく伝え、子どもの頃から第一日曜日の「みんなでいただきますの日」があることを知ってもらい、子どもから各家庭に伝わるような習慣的な取り組みとなるよう、もっと積極的にこの日のことが定着できるような取り組みを行い、伝えていってほしいと思います。

P17 (5) 神奈川県の農林水産業

「県内では、気候風土を活かしたさまざまな農林水産物が生産され～野菜(234万人分)や鶏卵(96万人分)、魚介類(62万人分)など生鮮食料品を中心に高い生産力を維持し、消費者に提供されています。」と記載がありますが、野菜・米・果実・鶏卵・牛乳・豚肉・魚介類どれも生産量は減少しているので、かながわブランドの紹介だけでなく神奈川県の農林水産業の課題についても記載があっても良いのではないのでしょうか。

P26 (1) 食育に係る本県の特性を活かした施策展開 ア 立地と産業 7行目から

本県のメリットを活かし～とあります。地産地消を積極的に進めることで輸送コストも減り環境にも優しく生産者の負担も減ります。また、私たち県民は新鮮な農林水産物が届く喜びがあります。ぜひ積極的な推進をお願いします。

P28 (1) 施策体系図 取組の方向性

「食」は、未病を改善するための重要な要素であり、...とありますが、「食」は身体をつくっていく重要な要素という捉えもあります。身体をつくっていく重要な要素であり、健康を維持していくものだと思います。

P30 【横断的な視点】「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進

食に携わる現場と、学生たちや無関心層をつなぐ取り組みを進めること。そして、これまでは不可能と思えた場所や作業などの体験活動などについても、デジタルツールを活用することでできる可能性は大いに広がることと思います。実際に見ることや話すことで生まれる気づきや感動は、自らもつと誰かに伝えたいと思う気持ちが高まると考えます。食育推進の取り組みに関しても、そんな個人からの広がりも期待できると思います。

P32 伝えていきたい日本の食文化

「和食」には、おかずと汁と漬物でごはんを食べる「一汁三菜」という基本的な組み合わせがあります。」とありますが、まずは、学校給食が、それを実践する機会であってほしいと希望しますが、給食は、パンが主食のことも多い現状です。米飯を主にした給食に取り組むことを、食育推進計画に入れていただきたいです。

P37 (I) 食育推進

県の取組に「子どもの居場所づくりと連携した共食の推進」が無くなったのはなぜでしょうか。子ども食堂は普及しつつありますが、運営団体などが継続運営していけるよう、引き続き共に楽しく食事をする共食の普及啓発として県でも取り組んでいただきたいと思います。

P39 かながわ食の安全・安心基礎講座の開催

「食の安全・安心に関する講座の開催」とありますが、現状は、手洗い方法の実践と食中毒予防についての内容のみで、参加者が期待する食の安全・安心とは異なる内容のように感じます。参加者も少ない状況だと思いますので、県民の要望に沿った食の安全・安心講座の開催を期待します。

P42 (イ)学校等での食育の推進

学校等で身につけた食に関する知識や理解は、子どもを通じて家庭の食生活に良い影響を与えることも期待できます。学校給食は、行事食や郷土料理、県内産の食材を活用した献立などがあり栄養バランスも考えられています。食生活を学び成長しても知識として残ります。また県内には外国籍の子どもも多く日本食、日本の行事を学ぶことの出来る機会だと思います。引き続き推進を希望します。

P49 3 県民、団体、事業者等に期待される取組

「事業者は・・・学校等が行う工場見学や農林水産体験活動等に協力する。」とありますが、県内の地産地消の推進し県内の農林水産業の就業者数拡大のため、中高生の農業体験の機会が増えると良いと思います。

P49-P50 3 県民、団体、事業者等に期待される取組

食育ポータルサイトを作り、それぞれが情報発信したり容易にアクセスできる環境の構築をお願いしたい。カテゴリ別食育情報や、参加できるイベントの検索、出前講座などのリスト、信頼できる情報提供事業者へのアクセス、総合学習で使える学校教育向けのコンテンツなど。

P61 枠内<目標達成の状況と評価>

・「⑩ 公立小・中学校の学校給食において地場産物を使用する割合」は、目標値に届かなかったものの、改善しています。とあるが、助成金なども視野に入れ、引き続き、地場産物使用を推進していただきたい。

P61 枠内<目標達成の状況と評価>

・「⑩ 学校給食の残食率(野菜)の減少(公立)」は、悪化しました。とありますが、給食の食品ロスに関しては、「給食の時間が足りない」という事はないでしょうか。食品ロスに関しても食育として学校でもしっかりと伝えていただきたいと思います。フードバンクかながわで行っている出前授業等や副読本なども活用して学校のカリキュラムにも入れていただきたいと思います。

以上